

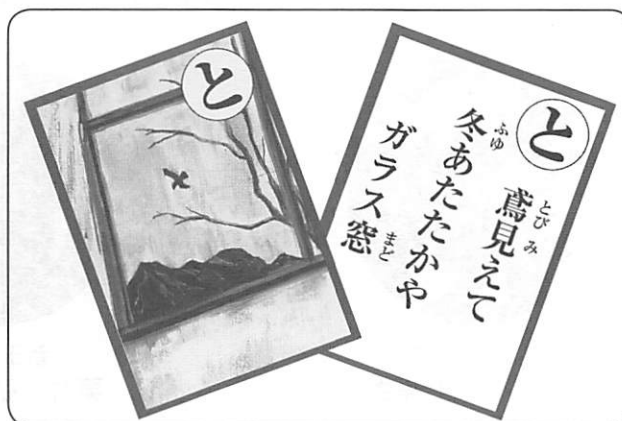
松山市教育会情報

発行所 松山市教育会
松山市祝谷町1-5-33
☎ 089-933-0354
発行者 高橋 猛
編集 調査研究部

「そろえてくれてありがとう」



副会長
砂田 孝夫



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編
松山市立子規記念博物館 監修

平成29年は、愛媛にとって国体の年となりました。松山市でも多くの競技が開催され、県外から多くの選手や関係者が訪れました。そこでは熱気あふれる試合が繰り広げられ、誰もがスポーツの魅力存分に味わったことでしょう。県外の人たちがそのことと同じくらいに感動したことが愛媛の「温かなおもてなし」だったと聞いています。大会ボランティアをはじめとする関わった人たちの気持ちの込めたおもてなしが他県の人たちの心を温かくしました。学校でも応援のぼり旗の製作や花いっぱい運動の推進、競技応援や開閉会式への参加など、温かなおもてなしに一翼を担うことができました。

「もてなす」の語源は「もて（意識的に）」と「なす（事を成す）」ということのようです。茶道の千利休は「利休七則」の中で「おもてなし」とは、「お客を迎えるときは当たり前のことを当たり前、きちんと丁寧に行うこと」と伝えていています。

私たちが日々の生活で広い心とゆとりをもって、他者への心配りを大切にしたいものです。私は子どもたちにこうした他者への心配りを気軽に実践してほしいと、トイレのスリッパを揃えて置くことを話します。小さなことですが気持ちがなければなかなかできないことです。「そろえてくれてありがとう」の手作りシールをスリッパの手前に貼り、朝会でこんな話をします。

「スリッパの所に貼ったメッセージ<そろえてくれてありがとう>は、誰が誰に対しどんな気持ちで言ったんだろうね。」と、ある先生が子どもたちに聞きました。

A君は言いました。「そりゃ、後から使う人が前の人に言ったんだよね。」

次にB君が言いました。「トイレが揃えてくれた人に言ったんだよ。トイレをきれいにしてくれてありがとうっていう気持ちを込めて。」Cさんも言いました。「スリッパが言ったのよ。ほくを揃えてくれてうれしいな。気持ちがいいよって。」

そしてDさんが言いました。「先生が、揃えた子に言ったんだ。学校をきちんとしてくれてうれしいねっていう気持ちで。」そして、E君も言いました。「揃えた子どものお父さんとお母さんが言ったんだ。そんなことのできる優しい子に育てられてありがとうってね。」最後にFさんが言いました。「全校のみーんなが揃えた子に言ったんだよね。僕らの学校のためにいいことしてくれてありがとうって。」

スリッパを揃えるだけでも、みんなの心が温かくなるかもしれませんね。

「人をもてなす」、「人のためにちょっと心配りをする」「人に思いやりをもって接する」子どもたちには、そういうことが自然にできるような人に成長してほしいと願っています。

平成29年度報賞者

松山市教育会



(さくら支部)
二宮 征忠 先生
支部長



(新玉支部)
栗林 弘一 先生
理事・支部長



(桑原支部)
増元 晶尚 先生
理事・支部長



(味酒支部)
村上 美子 先生
事務局長



(浮穴支部)
渡部 光治 先生
事務局長



(石井北支部)
佐藤 敦子 先生
事務局長



(石井東支部)
中尾 順子 先生
理事・事務局長



(久枝支部)
塩見 靖彦 先生
事務局長



(新玉支部)
近藤 哲也 先生
事務局長



(中島支部)
尾脇 康資 先生
事務局長

「えひめ教育の日」記念事業

「まつやま教育フォーラム29」高齢慶祝者(白寿・傘寿)名簿

| | 氏名 | 支部 | | 氏名 | 支部 |
|----|----------|----|----|----------|------|
| 白寿 | 大木 フク子 様 | 湯築 | 傘寿 | 宇都宮 正男 様 | 石井 |
| 傘寿 | 門屋 宏樹 様 | 八坂 | 傘寿 | 佐伯 晃三 様 | 坂本 |
| 傘寿 | 毛利 光子 様 | 清水 | 傘寿 | 西谷 伸子 様 | たちばな |
| 傘寿 | 久井 捷史 様 | 潮見 | 傘寿 | 山口 文宏 様 | 味生第二 |
| 傘寿 | 富永 琢見 様 | 潮見 | 傘寿 | 首頭 賢 様 | 味生第二 |
| 傘寿 | 佐土 志保子 様 | 久枝 | 傘寿 | 友澤 道信 様 | さくら |
| 傘寿 | 飯野 陸朗 様 | 宮前 | 傘寿 | 片岡 喜代見 様 | みどり |
| 傘寿 | 三好 康治 様 | 桑原 | 傘寿 | 塩梅 陽一 様 | みどり |
| 傘寿 | 栗田 忠士 様 | 湯山 | 傘寿 | 渡部 由美子 様 | みどり |
| 傘寿 | 三好 弘子 様 | 久米 | 傘寿 | 沖原 功夫 様 | 福音 |
| 傘寿 | 菅野 幹 様 | 小野 | 傘寿 | 古泉 玲子 様 | 姫山 |
| 傘寿 | 加藤 通邦 様 | 小野 | 傘寿 | 永井 宏佳 様 | 正岡 |
| 傘寿 | 仙波 弘子 様 | 小野 | 傘寿 | 西原 美代 様 | 正岡 |
| 傘寿 | 渡部 平人 様 | 小野 | 傘寿 | 西 幸重雄 様 | 河野 |

思い出の学校

広見の流れ清くすみ

加藤 通 邦 (小野支部)

45年間の教師生活で私が勤務した学校は8校ある。それぞれに特色があり、深い思い出がある。迷った末やはり私の教師生活のスタートである新任校の「広見町立泉中学校」の思い出について述べることにした。表題にある「広見の流れ清くすみ」は、校歌の冒頭の部分で1番は（広見の流れ清く澄み 秀麓の里ここ泉～）で始まり、2番の初めは（春は緑の草もえて 秋もみじ葉の散るところ～）と詠^{うた}われている。昭和35年4月、この校歌に表されたとおりの新緑の山々に囲まれ清らかな流れの広見川の^{ほとり}辺に建つ「泉中学校」に赴任した。

「加藤君コートは襟を立てて着るものかね。」これが校長の第一声だった。その日は少し肌寒だったのでダスターコートの襟を立てて校門をくぐったのだが、どうもその様子を校長は見えていたらしい。校長室は2階にあったので私の一部始終はしっかり見られていた。職員室に行き挨拶を済ませ教頭に伴われて校長室に入ったときの出来事である。もちろん私は「いえ、少し寒かったものですから。」と答えた。「学校は地域の文化だからね。教師は文化の伝道師ということになる。」しばらくして「分かりました。」と答えざるを得なかった。「子どもは見て真似るからね。真似るは学ぶということです。今日から頑張ってください。」そして校長はにっこり笑った。「まいった！」というのが本音だった。それ以降、私は身仕舞いには気を配りそれが身について人にはお洒落と言われるようになった。この出来事が「行動は人を動かし教育する」ということを私に教えた。当時の校長は高瀬忠雄先生で、漢詩に堪能でお酒好きの穏やかで温かみのあるすばらしい校長だった。私は「泉中学校」に4年間勤務して数学と体育を担当した。その間、校長や先輩や子どもたちから「人は心で導くもので寄り添う教育が大切である」ことや「教育は個に始まり個に終わる。そして、個々の力が結集して大きな力を生みさらに個を伸ばす」ことなどを学んだ。他にも多々あるが紙面の都合で割愛する。私が25年間続けたバスケットボールの指導もここがスタートだった。

若気の至り

栗 田 忠 士 (湯山支部)

今から56年前、昭和36年伊予郡中山町立佐礼谷中学校に赴任しました。国道56号線沿いの旧犬寄峠を越えて少し下った所、ひなびた農山村の山懐に学校はありました。

生徒たちは新米の私を温かく優しく迎えてくれました。

着任最初の職員会で学級担任等の発表があり、私は学担を外れていました。教師になったらまず学担をと熱望していた私は、



その職員会の席上で私の所信を述べ、ベテランのS先生が持つことになっていた1年1組(30名)の学級担任を譲ってもらうことになりました。全く向こう見ずと言うか、若気の至りと言うか、今考えると恥ずかしい限りですが、それを許してくれる気風が学校にありました。

休日もほぼ学校に入りびたりで、生徒たちと遊ぶのが楽しみでした。生徒たちと一緒に学校のすぐ前を流れる拝鷹川でハヤを釣ったり、彼らを引き連れて階上山に登ったり、夏休みには長浜沖へ釣りに行ったり、今だったらとても許してもらえぬことばかりです。

私の宿直の日には同輩のO君が同宿、O君が宿直の日には私が同宿、一杯を酌み交わしながら恋を語り、学テ対策の苦悩も語り合いました。

そんな思い出の学校も廃校になってずいぶん経ちました。夢のような話です。

熱く熱く教育研究に燃えた学校

仙波弘子(小野支部)

私の教育生活の4分の1に当たる9年間を過ごした学校。また、自宅のある念願の松山市内の学校、松山市立八坂小学校へ着任したのは昭和41年、20代後半のときである。

着任の日、K校長先生から、本校は松山市の第三尋常小学校であり、伝統のある学校であること。保護者もこのことに誇りを持ち教育熱心であり、その期待に応えてほしいと熱く語られた。

当時の八坂小学校は21学級850名程の大規模校であったが、学校全体がまとまっており職員室は居心地がよく、学校全体が大家族の家というように温かったことを覚えている。

昭和45年には松山市理科教育研究会の会場校。さらに、翌年昭和46年には四国理科教育研究会の会場校となった。そしてこれらの研究成果が認められ、科学技術庁長官賞、ソニー理振優秀校として表彰され、記念碑が建立された。(写真参照)

これらの取組の中で鮮明に覚えていることの一つは、研究会に向けての教案審議のことである。松山市内小学校の理科主任さんが午後5時から、こぞって八坂小学校に集まり夜更けまで教案審議に知恵を絞ってくださった、その熱意に教育研究の原点を見たこと。二つ目は5年生の「燃焼」の授業である。瓶の中で消えた蠟燭について「ろうそくの熱で中の空気が変わったのだから、冷やせばまた燃える」という仮説になり、一週間冷蔵庫に瓶を入れたことがあった。このように子どものユニークな発想にどきどきしながら理科の授業案を練った日々である。

当時、理科主任だった清水栄三先生は惜しくも今春亡くなられたが、先生を核にして、学校全体が授業研究に熱く熱く燃えたあの数年間は、私のその後の授業への取り組むときの背骨を作ってくれたと深く感謝しております。八坂小学校、9年間ありがとうございました。



えひめ教育の日 記念事業

まつやま教育フォーラム 29 講演会

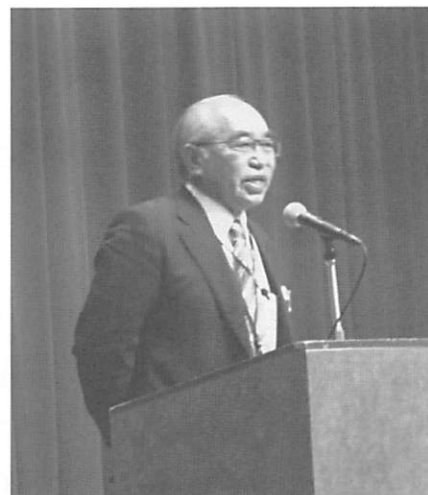
H29.11.11(土) 文教会館にて

道後温泉別館 あすかのゆ 飛鳥乃温泉の楽しみ方

講師 道後温泉コンソーシアム 副館長

田内宏幸氏

道後温泉界隈の宿泊者及び入浴客は、昭和63年の瀬戸大橋開通を境に減少の一途をたどり、平成21年には過去最低となりました。その当時、松山市活性化の担当部署に勤めておられた田内氏が、観光客を呼び戻そうと、地元と協議を繰り返し、平成26年から「道後オンセナート」を開催することとなりました。一年一年、趣向を凝らしながら取り組むことで、一部クレームもあったそうですが、全体的には好評で、観光客の減少に歯止めがかかりました。現在は、道後温泉コンソーシアム副館長として、キャッチフレーズ「最古にして最先端のアートで街を活性化」を掲げ、道後温泉界隈の更なる飛躍を目指してご活躍されています。



◆プロジェクト発足

平成4年頃から、「第3の外湯」構想がたち上がり、平成22年「道後温泉三千年の歴史漂うまちづくり～女帝の湯復元プロジェクト～」が発足しました。3000年の歴史をもち、日本最古の温泉ともいわれる道後温泉。その奥深い歴史には数々の物語が残ります。飛鳥時代をテーマとし、その物語を愛媛が誇る伝統工芸や匠の技で表現しています。上質な温泉の癒やしとともに、感性を刺激する作品を楽しんでいただくことをコンセプトとしています。

◆道後温泉にまつわる伝説や物語

昔々のこと、足を痛めた白鷺が舞い下り、岩の間から流れ出る湯に浸していたところ、やがて傷は癒えて、飛び立っていった。それを見た村人が入浴するようになったことが、道後温泉の発見とされています。道後温泉は大国主命と少彦名命すくなひこなのみことの神話にも現れます。大国主命と少彦名命が伊予の国を訪れた際、重病にかかった少彦名命を大国主命が掌にのせて道後温泉の湯で温めたところ、たちまち元気になって、石の上で踊り出したとされています。その石は、「玉の石」と呼ばれ、本館北側に保存されています。西暦596年、道後を訪れた聖徳太子は明媚な風光と良質の温泉を褒めたたえ、湯岡ゆのおかに温泉の碑を建立されたと伝わります。

奈良時代には万葉歌人の山部赤人や額田王の歌にも登場します。額田王の歌「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな」をテーマにして、飛鳥乃温泉の女性のお風呂は砥部焼の陶板で、瀬戸内海の風景を表現しています。その陶板の一番湯玉のあるところにプロジェクションマッピングで、春夏秋冬、一日の光景や瀬戸内海を船が行き交う様子などを映し出しています。

昔、「伊予の湯桁」というと、数がたくさんあるという表現だったそうです。湯桁というのは、池みたいなところに板を渡して、その間に入っていくという方法です。飛鳥乃温泉の特別浴室では、斉明天皇が来られたときのイメージで湯桁や湯帳（浴衣の原型）を着て入浴体験をしていただけるようになっています。

◆館内の伝統工芸品

エントランスは、空気を浄化する「ゼオライト和紙」で作った山門シェードになっています。その門をくぐったら「現代から飛鳥時代に入りますよ」というイメージです。その中に入っていたくことで、身を清めて心を浄めるという区切りになっています。山門シェードの左右に暖簾^{のれん}がかかっており、これは伊予絣^{いよはら}でできています。その次に、湯玉のモニュメントがありまして、ぶつぶつと黒い点には、千年はもつといわれる「和釘」が使われています。

男湯女湯にはそれぞれ露天風呂がついておりまして、そこには「媛ヒノキ」を使ったデコラパネルや「菊間瓦^{きくまわ}」の行灯^{あんどん}もありますので、椿を見ながら楽しんでいただけたと思います。大浴場には「砥部焼」の陶板があり、プロジェクションマッピングでいろいろな景色が楽しめます。

特別浴室は二つあり、一つ目の浴室は本館^{ほんくわん}の又新殿^{ゆうしんでん}そのままになっています。二つ目の浴室は「伊予簀^{いよす}」という御簾^{みす}で部屋が仕切られています。また、遊び心に富んだ天井画が描かれています。

二階の個室は五つありまして、それぞれの部屋に「伊予水引」「筒描染」「今治タオル」「桜井漆器」「西条だんじり彫刻」などの作品が壁一面に飾ってあります。

大広間には五十崎の和紙のメーカーさんに作っていただいた、和紙に金属箔を貼った「ギルディング和紙」の間仕切り（椿やいろいろな花を表現している金欄^{きんらん}緞子^{どんす}のシェード）やランプがあり、結構豪華なイメージがします。また、「やちゃら編み」という編み方で製造された、伊予竹細工もあります。奥の方には「道後温泉絵図」というのがあり、絵の中に誰かを探すという楽しみがあります。

◆館内のサービス



お茶とお菓子も今回、地域の和菓子メーカー2社にお願いして、新しいオリジナルのお菓子を作っていただきました。浴衣と職員の制服は服飾ブランドにデザインを頼んで作りました。浴衣は、日本全国で温泉を発見したとされる13種類の動物をちりばめてデザインしていただきました。

特別浴室は三か月前から電話予約できます。各部屋1日4組までですので、二部屋を1日8組で利用していただくこととなります。お風呂に入られた後、全部抜きまし

て、掃除して、またお湯を入れるという作業をします。どうしても二組の間に2時間ほどかかります。また、入り口に御成門^{おなりもん}を作っています。この間秋篠宮さまが来られたときに御成門から入られました。皇室しか入れないという御成門を通していただいて、皇室専用のお風呂に入ってくださいのもおもしろいかなと思います。家族風呂というふうに考えていただけたら結構です。入られると、タオル・バスタオル・浴衣・湯帳、そして部屋にはお茶菓子をご用意して接待しますので、ゆっくりと入っていただきたいと思います。

【講演を終えて】

田内氏の講演により、道後温泉別館 飛鳥乃温泉には、本館にはない「最古にして最先端」の魅力が満載であることが参加者に具体的に伝わりました。まだ入浴していない方の多くは、早く「飛鳥乃温泉デビュー」を果たしたいという思いを抱いたことでしょう。道後温泉界隈の観光客の増加を目指し、従来の温泉にはない様々な魅力があふれている飛鳥乃温泉が、今後ますますその存在感を高め、多くの客を楽しませてくれることを期待しています。

ブロック紹介

第7ブロック理事 高橋 猛

第7ブロックの教育会は、松山市南部を範囲とする浮穴小・石井小・荏原小・坂本小・椿小・石井東小・石井北小・久谷中・南中・南第二中・椿中の11小中学校で構成されています。

ブロックの全体活動としては、各支部教育会が輪番で受け持つブロック研修会を実施しています。今まで、児童生徒学習支援、文化財巡り、エコ・ランタン製作、公共施設見学、寄せ植え体験等々、各支部の特色を生かした内容で研修・親睦を深めてきました。今年度は、「ニュースポーツに挑戦!!」と題して、気軽に楽しめるスポーツ体験を行いました。

11月25日(土)、石井東小体育館を会場に、新しい軽スポーツを体験し交流を深めました。講師には、松山市の教育会員でもあり、愛媛県スポーツ振興事業団にお勤めの亀田勝豊様をお願いしました。まず、準備体操として、タオルを利用した身体ほぐしのストレッチです。タオルの力を借りて、無理なく楽しみながら、徐々に全身の硬い筋肉(?)と心がほぐれていくのがわかりました。これなら、いつでも・どこでも・一人でも・家族でもできそうな健康体操です。

続いて、2種類のニュースポーツにチャレンジです。初めて目にする簡単な用具を使用し、「スピード・ラダーゲッター」を楽しみました。紐付きボールを投げて、全てのラダー(梯子)にどれだけ早く掛けられるかを楽しむゲームで、1チーム4・5人編成の6チームによるリーグ戦を行いました。5メートルほどの距離から慣れないボールを投げるため、最初は戸惑いや失敗ばかりでしたが、そこは、子どもたちを長年鍛えてきた教師集団です。だんだんコツをつかみ始め、見事成功するチームが増えてきました。

次に挑戦したのが「ディスクン」。子どもから高齢者までが、共に楽しめるゲームです。赤と青のディスク(円盤)を黄色のポイント目指して投げ合うゲームで、ペタンクやオリンピック種目のカーリングに似たところがあります。ディスクをポイントにより近づけるように投げ、お互いのディスクをはじき飛ばしたりしながら、早く11点を獲得したチームが勝利します。ちなみに、振興事業団に申請さえすれば、無料で用具の借り出しや講師の依頼もできるそうです。

今回は、現職9名、OB15名、計24名の参加でした。年齢差や性差はほとんど関係なく楽しめ、自然とガッツポーズやハイタッチが飛び交う和やかな時間を過ごしました。また、現職の先生とOBとの親睦を深める絶好の機会となりました。ぜひ、他のブロックでもお楽しみください。

活動の様子

本年度の文化講座のご案内

福利厚生部

本年度は、五つの文化講座が開かれています。会員の皆さんは、先生方のご指導の下、和やかな雰囲気の中で熱心に受講され、講座を楽しまれています。

●囲碁・将棋教室

第1土曜日の午後を開催しています。大場武志先生のご指導で、20名の会員さんが囲碁や将棋の腕を磨いています。

●俳句交換会

12名の会員さんが、吉田晃先生、近藤良郷先生のご指導を受けながら句作を楽しみ、毎月、交換句集を発行しています。

●ヨガ講座

第2土曜日の午後には講座を開催しています。脇坂恭子先生のご指導を受けて、16名の会員さんがヨガに親しんでいます。

●川柳教室

栗田忠士先生のご指導の下、16名の会員さんが、第3土曜日の午後には川柳作りに励んでいます。

●詩吟教室

月2回、月曜日に教室が開かれています。今年の全国大会で優勝された伊賀上峰山先生のご指導で、9名の会員さんが活動しています。

ご入会を希望される方、興味をおもちの方は、市教育会事務局までご連絡ください。